

◆ご入学おめでとうございます。 すこやかに、やさしく、たくましく育つことを 心より、願っています。さあ、時代を拓こう！

令和7年4月4日。ソメイヨシノの蕾がほころびかけ、一足早く満開となったサトザクラが昇降口で迎える中、期待と不安に胸をふくらませた新入生69名が、晴れて信明中学校の門をくぐりました。

新入生69名のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、ようこそ信明中学校へ。信明中学校の全職員と2・3年生の先輩方がみなさんのご入学を、心から歓迎します。

無限の可能性を秘めたみなさんの、ここ、信明中学校での成長と活躍を心より祈っています。



新入生：クラス発表

令和7年度 信明中学校入学式

式 辞



どこからともなく花が香り、春の気配を感じていますと、桜の開花の便りが日本各地から届き始め、いよいよ生命が躍動する季節を迎えようとしています。

本日、ここに、六十九名の新入生を迎え、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和七年度の松本市立信明中学校の入学式を挙行できますこと、誠にありがたく、関係の皆様衷心より御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。今は、期待と不安で胸のなかはいっぱいでしょう。全職員と二、三年生の先輩方で皆さんの成長を支えていきますので、安心して学校に来てください。

新入生の皆さん、あなた方はこの信明中の土で育つ、意思のある種です。あなた方は、まだ芽を出していません。しかし、人生のあけぼのの中で大きな可能性をはらみ、適切な気温と水と光を待ち、また、自らそれらを求めることで葉を茂らせ、花を咲かせ、実を結び、いずれは社会に幸福をもたらす、かけがえのない大事な一粒の種であることを心に深く刻んでほしいと思います。一つ一つの種は、色や形や大きさ、どれ一つとして同じものはありません。しかし、ただ一つ、共通していることは、可能性に満ちた意思を持ったかけがえのない命であるということ。そういう意味で、自分を大切にするとともに、色も形も大きさも違う隣の種の個性を尊重し、互いに良い影響を与え、与えられながら、豊かな学校を、更には豊かな社会を創造する人に育ってほしいと願います。

イギリスの冒険家ラッポックは、「他人と比較して他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ」と語っています。他人との比較ではなく、自分自身との比較を通して成長することの大切さを述べた言葉だと思っています。ゆっくりでよい、しかし、一步一步、着実に歩み出してほしいと思います。

その歩みのために、具体的に五点、お願いしておきます。

その一 まず自分自身の心と体を大切にするとともに、人に優しくすること。

その二 一日が挨拶に始まり、挨拶で終わるようにし、人との交わりを心がけること。

その三 人の話を良く聴き、そして、自分の考えをもつこと。

その四 みずからの夢と希望をもつこと。

その五 その実現のための方法を具体化し、毎日少しずつでも努力すること。以上五点です。

今日から始まる三年間のなかで、必ずあなたの出番がやってきます。そして、社会を支えていける人や創造的な人として成長するきっかけが必ずあります。その機会を逃さず、とらえ、この信明中学校という環境のなかで力を伸ばしてってください。



イギリスの冒険家
ジョシュ・ラッポック
◇生物学者、考古
学者として世界各
地を冒険した。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。中学校の三年間は、人生の中で心身が最も大きく成長する時期であると同時に、心が不安定になる時期でもあります。ときに起きる悩みや苦難を、本人の力で乗り越えられますように、お子様の成長を成長段階にあった距離で見守ってください。私たち職員一同は、「明日も学びに行きたくなる学校」を合い言葉に、教育活動を進めていきます。「信明中でよかった」と実感できる三年間になるように、一人一人に寄り添い、学びを進めていくことをお誓い申し上げます。

本日、晴れの舞台にたった可能性に満ち溢れた生徒の皆さんが、これからの中学校生活を、かけがえのない仲間と喜びや悲しみを分かち合いながら、豊かな自然環境に恵まれたこの松本の地で、たくましく成長していくことを期待し、入学式の式辞といたします。

令和七年四月四日 松本市立信明中学校 校長 丸山剛生

新入生代表挨拶



暖かい日差しがより一層輝く今日、私たちは信明中学校の生徒となりました。本日は立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。新入生代表として心より感謝申し上げます。

校長先生をはじめ、多くの皆様からのお祝い、励ましの言葉をいただき、中学生になったという実感を改めてかみしめています。皆様のお言葉に応えられるように新入生一同心を引き締め、学校生活を送っていききたいと思います。

私たちにとって、今日が三年間の中学校生活の始まりです。

今は、入学の大きな喜びと期待に胸をふくらませ、この席に座っています。一方で、大きな環境の変化や勉強と委員会活動の両立ができるかなど、少し不安もあります。悩んだり立ち止まったりしてしまうこともあるかもしれませんが、だからこそ、集団生活の中では自分の考えを優先するのではなく、仲間の意見にもしっかり耳を傾け、よりよい人間関係をつくりあげていきたいです。

仲間と協力し、支え合いながら一歩ずつ前へ進んでいきたいと思います。ここで出会ったかけがえのない仲間とともに信頼、絆を深め悔いのない三年間を送りたいと思います。

最後になりますが、先生方、先輩方、保護者の皆様、そして地域の皆様、時には厳しく、そして愛のあるご指導をよろしくお願いいたします。信明中学校の生徒として自覚をもち、実りのある中学校生活を送っていききたいと思います。

令和七年四月四日 新入生代表

保護者代表挨拶



大変僭越ではございますが、新入生の保護者を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。先月の卒業式の感動もまだ覚めやらぬところではございますが、本日は子どもたちのために、この様に盛大な入学式を執り行なって下さり、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ、諸先生方、深く感謝申し上げます。

本日の入学式で頂戴しましたお言葉をしっかりと胸に刻んで、また本日の初心を忘れず、子どもたちには充実した三年間の中学校生活を、過ごしてほしいと思います。

小学校の卒業式のとき、制服を着た子どもたちの表情は、少し大人びた印象を受けましたが、本日また制服姿で整列している子どもたちを見ると、一層成長した感じがします。しかしながら、彼らはまだ大人ではありません。初めて経験するであろう中学校での学習や学校行事に対する期待感とともに、不安もあるでしょう。先生方にはお手数をおかけしますが、支えていただきながら、あるいは指導していただきながら、お力添えをくださいますよう宜しくお願い致します。

私たち保護者も家庭内でできることは勿論、PTA活動を通してできることを積極的に協力させていただきながら、子どもたちの成長に携わっていく所存でございます。私たち保護者も含めまして、どうぞ宜しくお願い致します。

最後になりましたが、信明中学校のますますのご発展と、ここにお集まりの皆様のご健勝を祈念いたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。

令和七年四月四日 新入生保護者代表

入学式にさきだち、4月4日の午前中には、2・3年生が元気に登校しました。特に2年生はクラス替えがあったため、新入生とはまたちがった緊張感のもとでの登校となりました。新しいクラスが発表されると不安と期待の声があがり、それぞれが新たな決意を胸に、新しいクラスへと力強く、階段を上がっていきました。学校を支える柱として、2年生の^{進化・深化・真価}シンカに期待したいと思います。そして、いよいよ最高学年、学校の顔となった3年生。すでに生徒会を引き継ぎ、3月には「3年生を送る会」を立派にやり遂げてきました。4日の始業式でも落ち着いた雰囲気をつくりだし、5日の生徒会入会式や生徒会オリエンテーションでも堂々と発表する姿が、頼もしく感じられました。笑顔進光の3年生が創り出す信明中の新たな伝統に、わくわく感が止まりません。



2年生のクラス発表

令和7年度 信明中学校、

1年生69名、2年生103名、3年生89名、計261名で新たな「時代を拓き、ます。」

4/4 学校長着任式・1学期始業式



信明中学校15代校長に着任した丸山剛生先生は、本校4代生徒会長を務めた卒業生です。この奇跡の出会いに感謝です。



新たに11名の先生方をお迎えしました。新任職員を代表して本木善子先生からお話をいただきました。登校日数208日。令和7年度の幕開けです。



新入生入場

新入生起立

担任とともに退場

入学学活

4/4 令和7年度 第41回 信明中学校入学式

緊張した表情の中にも希望に満ちた確かな眼差しを感じました。今日この日の気持ちを、3年間大切にしましょう。



4/7 生徒会入会式・生徒会オリエンテーション

生徒会入会式で、初めて新入生と2・3年生が対面しました。生徒会長が歓迎の言葉を述べ、新入生に生徒会ファイルが贈られました。



新入生代表が、生徒会に入会するにあたり、決意を發表しました。



4/7 部活動発足会(2・3年)

新しい顧問が発表され、令和7年度の部活動が発足しました。8日には、1年生への部活動説明会が行われ、1年生の部活動体験が始まりました。

部長会長が決意を述べました。



4/10-12 3年修学旅行

3年生が2泊3日の奈良・京都修学旅行へ行ってきました。詳細は、5月号で紹介いたします。

東大寺大仏殿前

本日は、私たち新入生のために、このように立派な生徒会入会式を行っていただき、本当にありがとうございます。

私たちは今日から信明中学校の一員になります。中学校生活への不安もありますが、友だちと協力し合い、先生方や先輩方にいろいろ教えていただき、充実した中学校生活を送りたいです。

私は小学校のとき、副会長として児童会テーマ「結ぶ」を意識して、様々な活動に取り組んできました。この経験を生かして、中学校でも生徒会活動を頑張りたいです。

勉強は、これまでよりも難しくなります。テスト範囲も広がるので、その日に学んだことを家で復習する時間を確保し、努力していきたいです。

生徒会や学習、部活動など、一つ一つの活動に積極的に取り組んでいき、充実した3年間にしていきたいです。(抜粋)

令和7年4月7日 1学年代表

◆新たに11名の先生方を迎えました

令和7年度は、信明中学校に11名の新任の先生方を迎え、職員31名で信明中学校の新しい時代を支えていきます。

□■□新任の先生方□■□



なお、令和7年度信明中学校職員組織については、11日(金)に配布しました「令和7年度 学校要覧」でご確認ください。 ※地域には配布いたしておりませんので、ご承知おきください。

◆保護者の皆様へのお知らせ

① 家庭学習として「毎日ノート」に取り組んでいます。

信明中学校では、家庭学習の積み重ねとして「毎日ノート」に取り組んでいます。これは自主学習ではありますが、やってもやらなくても良いのではなく、必ず取り組み、毎日提出してもらうものです。①毎日、1教科以上やります。②何ページやっても良いです。③毎日、提出します。④どんなことをやれば良いか、教科担任からの説明を聞きます(あるいはその都度、教科担任に相談してアドバイスをもらいます)。⑤1週間の学習計画を生活記録に記入します(そのために一昨年度から生活記録の様式が変わっています)。⑥毎日、学習した時間を生活記録に記入します。⑦1週間ごとに自分の学習を生活記録でふりかえり、次週の学習計画に生かします。

保護者の皆様、今年度もお子さんが家庭学習に取り組んでいる時間が、毎日、必ずあります。温かく声がけをしながら、学習への取り組みをご支援ください。学校でも支援(指導)します。

② 信明中学校PTAの状況についてお伝えします。

PTAのあり方が全国的に問われる時代となっています。松本市内でもPTAの解散を決めた小中学校が、少しずつ増えてきました。そのような情勢の中、信明中学校ではPTAを「学校と家庭を結ぶ一本の絆」と位置づけ、「持続可能なPTAのあり方」をここ数年検討してまいりました。しかし、今年度は未加入者の増加に伴い、1学年において学年PTAを組織することができませんでした。昨年度3月のPTA総会での承認を受け、単位PTAとしては発足していますので、今年度のPTA活動は行っていますが、来年度の発足については不透明な状況になっています。11月に実施予定のPTA役員選考会までに検討を重ね、何らかの結論に達したいと考えていますのでご承知おきください。



新時代(=Society5.0時代)で求められる力

- ◇ 自ら課題を設定し、解決できる。
- ◇ 自分の意思や考えを的確に表現し、伝えることができる。

↓
今から(中学校時代から)身に付けていくべき力

- ◇ 文章や情報を正確に読み、書き、対話する力
- ◇ 科学的に思考、吟味し、活用する力(論理的思考力)
- ◇ 価値を見つけ、生み出す感性と力(好奇心・探究心)

↑
日々の授業

- ◇ 仲間と協働しつつ、自ら考え抜く自立した学び

↑
家庭学習

- ◇ 自ら考えて取り組む自立した学び

Society5.0時代とは、生活や労働といったあらゆる場面においてAIの活用が当たり前となり、現在ある仕事の半分は、AIが行うようになるとされる時代。超スマート社会のこと。個人に求められる力も、大きく変化すると考えられています。

Society5.0時代のイメージ動画 内閣府によるホームページ



“明日も学びに行きたくなる学校”を合言葉に、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、一年間 よろしくお祈りします。

ソサイエティ
新時代（＝Society5.0時代）で求められる力

- ◇ 自ら課題を設定し、解決できる。
- ◇ 自分の意思や考えを的確に表現し、伝えることができる。



今から（中学校時代から）身に付けていくべき力

- ◇ 文章や情報を正確に読み、書き、対話する力
- ◇ 科学的に思考、吟味し、活用する力（論理的思考力）
- ◇ 価値を見つけ、生み出す感性と力（好奇心・探究心）



日々の授業

- ◇ 仲間と協働しつつ、自ら考え抜く自立した学び



家庭学習

- ◇ 自ら考えて取り組む自立した学び

ソサイエティ

Society5.0時代とは、生活や労働といったあらゆる場面においてAIの活用が当たり前となり、現在ある仕事の半分は、AIが行うようになるとされる時代。超スマート社会のこと。個人に求められる力も、大きく変化すると考えられています。

Society5.0時代のイメージ動画



内閣府によるホームページ

